



ハンガリー政府観光局 ニュース 2012年5月31日 No 226

- 2012年第一四半期の日本人宿泊統計
- ブダペスト空港ターミナル2へ移転完了
- 業界向けヨーロッパアンカルテット・ワークショップ
- BS-TBS「地球絶景紀行 ハンガリー」6/1 21:00 放送
- 6月の主なイベント
- 王宮の丘に新たなツーリスト・インフォメーション
- 【コラム】ワイナリー・リベンジ

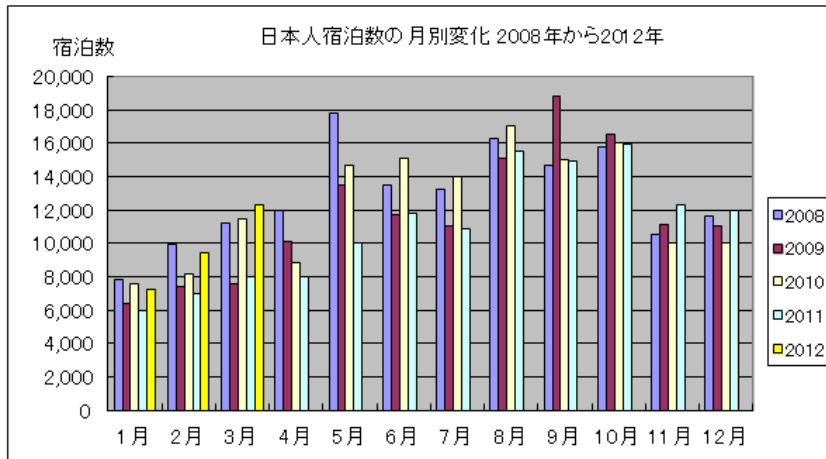
2012年第一四半期の日本人宿泊統計

ハンガリー国立中央統計局はこのたび2012年3月までの宿泊統計を発表しました。

この統計値によると、1月から3月までの日本人宿泊数の累計は29,100泊で、前年比で35.0%の増加でした。一方、外国人宿泊数は1,603,100泊で7.7%の増加でした。また、この時期の中国人は15,500泊(+0.1%)、韓国人は9,000泊(-29.2%)でした。

以下に、2012年の日本人宿泊数の推移と、2008年から2012年までの月別の宿泊数の変化を示しました。(数値の端数整理の関係から累計値と宿泊数の合計は一致しない。)

2012	日本人宿泊	
月	宿泊数	対前年比(%)
1	7,200	-
2	9,400	127.2
3	12,300	148.8



ブダペスト空港ターミナル2へ移転完了

ブダペスト・リスト・フェレンツ国際空港を運営するブダペスト空港会社によると、5月29日をもってターミナル1を閉鎖し、ターミナル2への移転が完了します。

今回移転したのは、従来ターミナル1を利用していたWizzAir、eayJet、Jet2.comなどの格安航空です。

業界向けヨーロッパカルテット・ワークショップ

チェコ、ハンガリー、ポーランド、スロヴァキア 4 か国で構成する、ヨーロッパカルテット V4 ワークショップが東京(5/16)と大阪(5/18)で開催され、旅行業界から延べ 103 名のご参加をいただきました。



BS-TBS「地球絶景紀行 ハンガリー」6/1 21:00 放送

BS-TBS の紀行番組「地球絶景紀行」は 6 月 1 日(金)21:00 から「いにしえの大平原ホルトバージ」を放送します。

番組の予告は、

今回の絶景の舞台は、ハンガリー。その美しき首都、ブダペストから東へ。そこにはハンガリーの古き良き伝統が、深く根付いていました。童話から抜け出したような世界遺産の村に、今も残る伝統の暮らし。母から娘へ、女性たちが日々の中で伝えてきた、やさしい手仕事。最後に行きついたのは、ハンガリー人の心のふるさと、いにしえの大平原でした。

是非ご覧ください。

6 月の主なイベント

開催日	開催場所	イベント
6	バラトンフレド	トライアスロン国際チャンピオンシップ
7-10	ブダペスト(Millenáris Park)	グルメフェスティバル
8-17	ミシュコルツ	バルトーク+プッチーニ オペラ祭
9-10	デブレツェン	七面鳥祭り
9-16	ブダペスト	ドナウカーニバル
10	ブダペスト(Lágymányosi Bay)	レッドブル人間飛行の日
13-17	ブダペスト	チェコビール祭り
15-16	ヴィラーニ	ゲレ・ジャズ・フェスティバル
15-16	エゲル(Agria Park)	国際ワイン・パーティー
16	ブダペスト他	ナイトミュージアム
16	アグテレク・バラドラ洞窟	洞内コンサート
18-23	ジュール	ハンガリーダンス祭
18-24	アグテレク・バラドラ洞窟	国立公園祭
22-24	セゲド	バラ祭り
23	ティハニ	ラベンダー祭り
23-24	ブダペスト	ドラゴンボート競走
24-7/1	ペーチ	国立劇場祭、聖音楽祭
28-7/1	ヴェスプレーム	モダンダンス祭
30	バラトンフレド	バラトン湖横断水泳大会

王宮の丘に新たなツーリスト・インフォメーション

ブダペストの王宮の丘に新たなツーリスト・インフォメーション(Tourinform Buda Castel)が開業しました。

この施設は多くの旅行者の訪れるマーチャーシュ教会に隣接したブダペスト観光の要衝の地に立地しており、毎日 10 時から 18 時まで営業しています。住所: 1014 Budapest, Tárnok utca 15.

現在 Tourinform は国内に 139 か所にあり、観光情報提供のネットワークを構築しています。詳細は www.tourinform.hu から。

なお、ブダペスト空港ターミナル1内のツーリスト・インフォメーションは一時的に閉鎖されています。



【コラム】ワイナリー・リベンジ

飯田 愛紀

前回、パンノンハルマを訪れたのが 2010 年のラベンダーの季節。その時、「飲んだワインの種類をメモし忘れる」という失態を犯した私は同年の晩秋にパンノンハルマを再訪した。もちろん、今度こそ「メモを取る」という使命を果たすためだ。

しかしながら、このコラムを書いているのが 2012 年の初夏なのだから既に記憶の鮮度が落ちてしまい、いささか心許ない部分もあることをご容赦願いたい。

そんなわけで、パンノンハルマを再び訪れた私を以前と同じ受付嬢が出迎えてくれ、しばし思い出話に興じつつ彼女は再びワイナリーを案内してくれた。

ちなみにパンノンハルマのワインセラー見学&テイスティングは事前予約制になっていて、ワインのテイスティング数(3種、5種、7種)でそれぞれ値段が違うのでこれから行かれる方は要チェックを。

私は今回は欲張って7種類をチョイスし、そして今回は田園風景を望みながらのテイスティングだったため今回は室内で頂くことにした。

屋外の開放感もなかなか乙だったが、しっとりとした湿り気のある独特のニオイに包まれたセラーでのテイスティングは、否が応でも期待が高まってしまう。



セラーの試飲スペース。

そして今回、忘れずメモした7種類のワインは――。

- ・2010, ST. MARTINUS CUVÉE
- ・2009, SAUVIGNON BLANC
- ・2009, PINOT BLANC
- ・2009, RAJNAI RIZLING
- ・2009, PRIOR
- ・2009, HEMINA
- ・2008, PINOT NOIR

以上の白ワインを主とした構成で、最初に試飲した「ST. MARTINUS CUVÉE」はまさにできたてほやほや。フレッシュなニオイとサッパリした後味でバツグンの飲みやすさだった。他は相も変わらず白も赤もスパイシーなラインナップが揃う中、唯一「甘い」と感じたのは「2009, PRIOR」。あくまで私の個人的な感想であるが、普段あまりワインを飲まない、飲み慣れない方には「2010, ST. MARTINUS CUVÉE」「2009, PRIOR」をオススメしたい。いずれもパンノンハルマの得意な白ワインである。

一頻り飲み終えた私は、ほろ酔い気分のまま最初に飲んだ「ST. MARTINUS CUVÉE」を購入して受付嬢に別れを告げワイナリーを後にした。

のちのちメモを読み返してみると酔っていたのか心許ない文字で解説に一苦労だったが、この時の私は「やり遂げた」感で満たされていたような気がする。

さて、今回は列車にてパンノンハルマを訪れたため、今回は違うアクセス方法を試すためジュールからバスを使ってみた。

私の場合はジュールに一泊したため早朝にジュールのバスターミナルからパンノンハルマ修道院行きのバスに乗って、午後には再びバスでジュールに戻ったが、おそらくブダペストからの日帰りも可能だろうと思う。しかし、せっかくジュールを経由するならばぜひ一泊してジュール観光もして欲しい。

ジュールについてはまた別の機会に語ることにして。ブダペストからの小旅行、あるいはショプロンやウィーンなど西への移動の寄り道に。ちょこっと旅程をアレンジして、この世界遺産の修道院



一つ一つ丁寧に説明してくれる。



「ST. MARTINUS CUVÉE」

とワイナリー訪問を予定に組み込んでみてはいかがだろうか？

夏も秋も変わらない、堂々たる姿がきっとあなたを出迎えてくれるはずだ。

